

仕事のやりがい

どんな魚を捕りたいかなど、漁師さんの要望を伺い、網目の大きさをやなどを決めて、網を仕上げます。その網を使っていただき、大漁だった時、やりがいを感じます。

この仕事を始めたのは

下関の水産大学校にいた時、漁業実習で魚を捕る機会がありました。それまで釣りしか知らなかったのですが、漁網を使って捕る方法に興味湧き、漁網を販売する仕事を選びました。

仕事で大変なこと

延岡、大分、隠岐の島の担当エリアへ営業に行きます。方言が分からずに苦労しました。また「1K※」などの漁師用語を理解するのに、1年近くかかりました。
※両手を広げたくらいの長さのこと



ぎよもうはんばいえいぎょう
漁網販売営業

とよだ 豊田 亮介 さん
大分県出身 下関市在住歴25年

仕事図鑑

このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

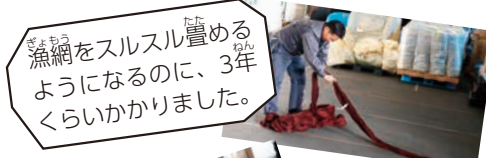
弊社では旋網、定置網、養殖で扱う漁網と漁労機械、業をするときに使う機械。クレーンや網洗機などを主に販売しています。

私の担当エリアでは、旋網をしてる漁師さんが多いです。灯りを照らして、集まった魚を網で捕る旋網は、夜に出港して、朝方に戻ってくるスタイルです。満月の夜は、灯りに魚が集まってくるので、漁師さんは陸で網の整備などの仕事をしています。その時に出張して、漁師さんの要望などを伺い、漁網、機械等々の営業活動をしています。

機械を取り付けた時は、実際に船に乗って、作業についても行き、試運転をすることもあります。

水産業を支える

会社にいった時よりも、漁師さんを取り巻く環境は年々悪化しています。ですが、漁師という仕事はなくならないと思います。漁師さんの要望に合った漁網を販売すること、水産業を支えることが大切です。忍耐力が必必要ですが、ぜひ一緒に海の仕事をしてみませんか。



漁網をスルスル畳めるようになるのに、3年くらいかかりました。



機械の試運転の様子。網に集まった魚があっという間に吸い上げられたと喜んでいただきました。



求められる網は長さ700m~800m、深さ200m~300m。約3mほどの網を縫い合わせて仕上げっていきます。

しよくにんわぢ
職人技!
長い網を1分で折り畳む豊田さん。